

ユネスコスクールに関する基準と要件について

資料 2 - 2

ユネスコが示す基準・要件（NCガイドより）	ユネスコスクール加盟希望校活動内容確認シート（現行）
基準（加盟前に求められる基準）	
a. 革新的で参加型の方法論とアプローチの使用	1-2. ユネスコスクールの活動を通じて育てたい資質や能力を明確にし、課題解決型の学習過程を重視した教育課程を編成したか。
b. すべての生徒のための安全で、持続可能な、非暴力の、包括的で、効果的な学習環境の提供	1-1. ユネスコスクールの使命や目的を理解した上で、ユネスコが特に重視している3つの分野（1.地球市民教育、平和と非暴力の文化、2.持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、3.異文化学習、文化多様性及び文化遺産の理解・尊重）に沿った活動を実践しているか。【必須】
c. 国内外の学校との交流	2-4. 交流相手の良さを認め合い、学び合うため、国内外の学校とのネットワークの構築に努めているか。
	1-4. 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境が整っているか。
要件（加盟後の活動に求められる要件）	
a. 年間活動計画を予想される成果の説明と共にナショナルコーディネーターに提出する。	1-3. 教科横断的な指導計画を立てるなど指導内容を適切に定め、さらに、指導方法の工夫改善を行っているか。
b. 与えられたテンプレートを用いて年間レポートをナショナルコーディネーターに提出する。	1-5. 今後のユネスコスクールとしての活動の質の向上のため、学校評価において、活動の点検を行ったか。
c. 毎学年度、ユネスコによるグローバルまたは地域のプロジェクト、コンテストまたはキャンペーン、またはナショナルコーディネーターによる関連する国の活動に、少なくとも1回は参加する。	2-1. SDGs や GAP など国際的な枠組みを意識して活動を行うよう努めているか。
d. OTA上のユネスコスクールネットワーク・カレンダーから選択した国連デーを少なくとも2日、全学校コミュニティの参加を伴って記念する。	

<p>e. ナショナルコーディネーターにより指示または提供されたやり方で、学校にユネスコスクールネットワーク・メンバーシップの外部向け表示を掲示する。</p>	<p>(加盟後、ユネスコスクール認定証の送付)</p>
<p>f. (PTA、ポスター、学校ウェブサイト等を通じて) 学校コミュニティにユネスコスクールネットワーク・メンバーシップについて知らせる。</p>	<p>2-2. ESDの推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果の積極的な発信に努めているか。 2-3. 地域の多様なステークホルダー（自治体、大学、社会教育施設、NPO、企業等）との連携などを通じて、持続可能な社会の構築のための開かれたネットワークを築くよう努めているか。</p>
<p>g. 毎年最低2回、必要に応じてナショナルコーディネーター、他のメンバーまたはパートナーの支援を受けて、OTA上の自分たちの学校の情報を更新する（連絡先データ、学校統計および活動）。</p>	<p>2-2. ESDの推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果の積極的な発信に努めているか。 2-5. ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）をはじめとした高等教育機関の支援や協力を得ながら、活動の充実に努めているか。</p>